

2.2 近年の環境の状況についての実感

(1) 近年の実感

近年の環境の状況についての地域レベル、国レベル、地球レベルの実感は、レベルにより大きく異なる結果となった。地域レベル、国レベル、地球レベルと規模が大きくなるにつれて、「(やや)悪化している」(「やや悪化している」及び「悪化している」の合計)と感じている人が多いという結果となった。国レベル及び地球では、「(やや)悪化している」と感じている人が半数を超えるが、地域レベルではおよそ半数の人が「変わらない」と感じている。

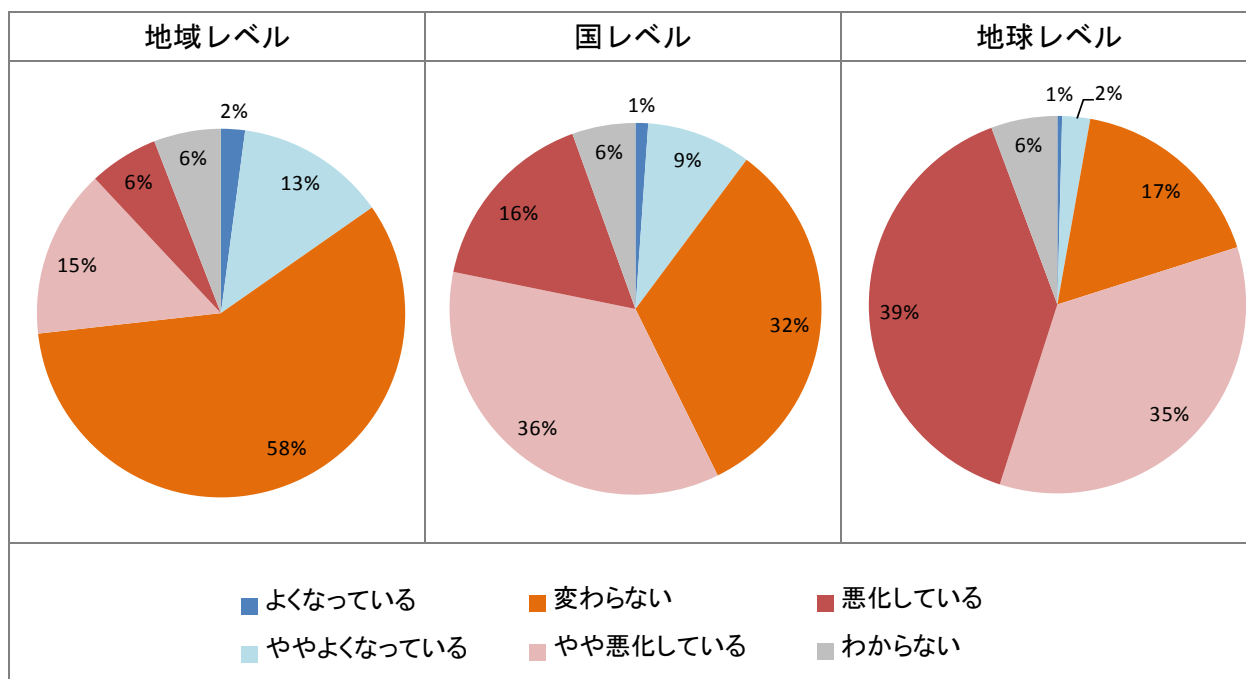


図 3 近年の環境の状況についての実感

年代別にみると、地域レベルでは、20歳代と60歳代以上の「(やや)よくなっている」(「よくなっている」及び「ややよくなっている」の合計)が多くなっており、70歳代以上では25.3%の人が「(やや)よくなっている」と感じている。国レベルでも、20歳代と60歳代以上が「(やや)よくなっている」と感じている人の割合が多い傾向がみられたが、地球レベルでは、20歳代と70歳代以上で同様の傾向がみられた。

また、時系列でみると、どのレベルでも前々年度時点から前年度にかけて「(やや)悪化している」と感じている人が増えていたが、前年度か今年度にかけては減っている傾向にある。



図 4 近年の環境の状況についての実感（地域レベル、年代別）

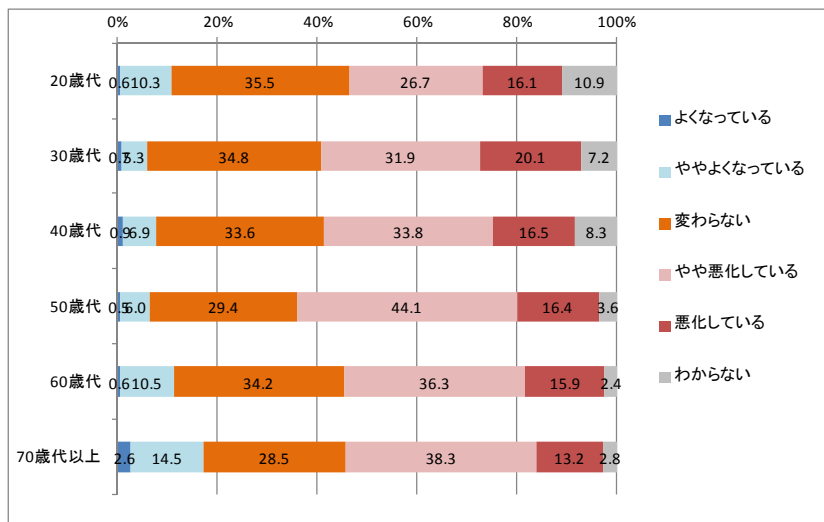


図 5 近年の環境の状況についての実感（国レベル、年代別）

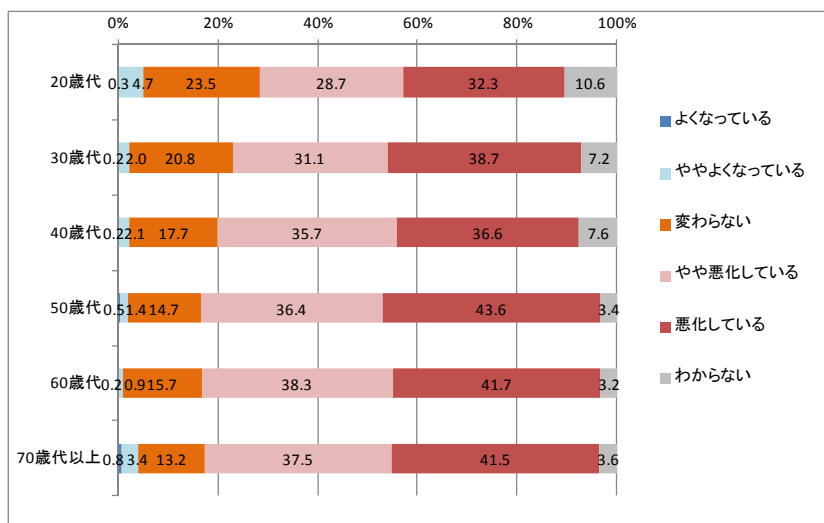


図 6 近年の環境の状況についての実感（地球レベル、年代別）

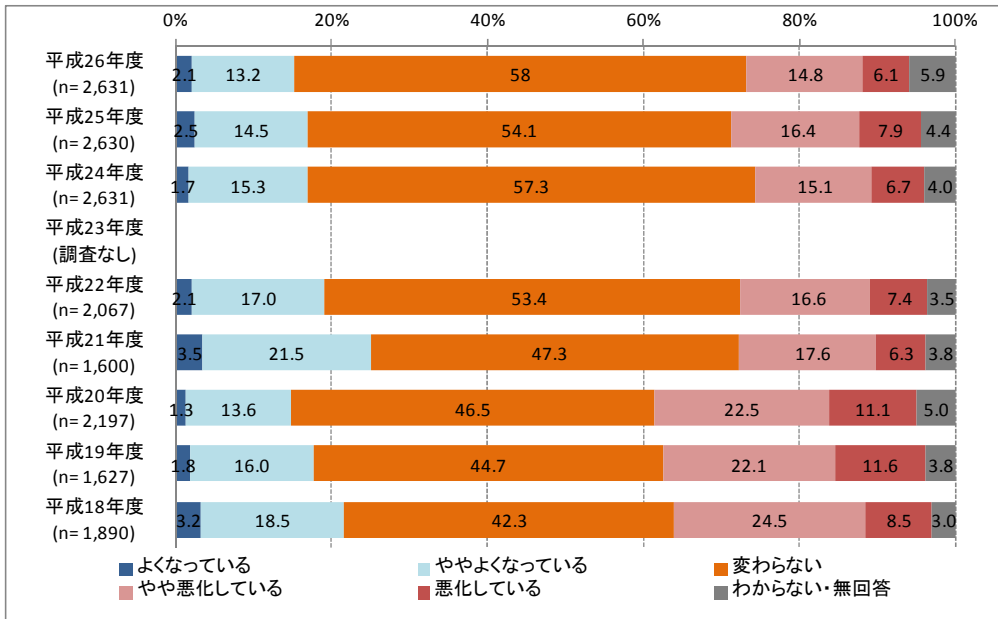


図 7 近年の環境の状況についての実感（地域レベル、時系列）

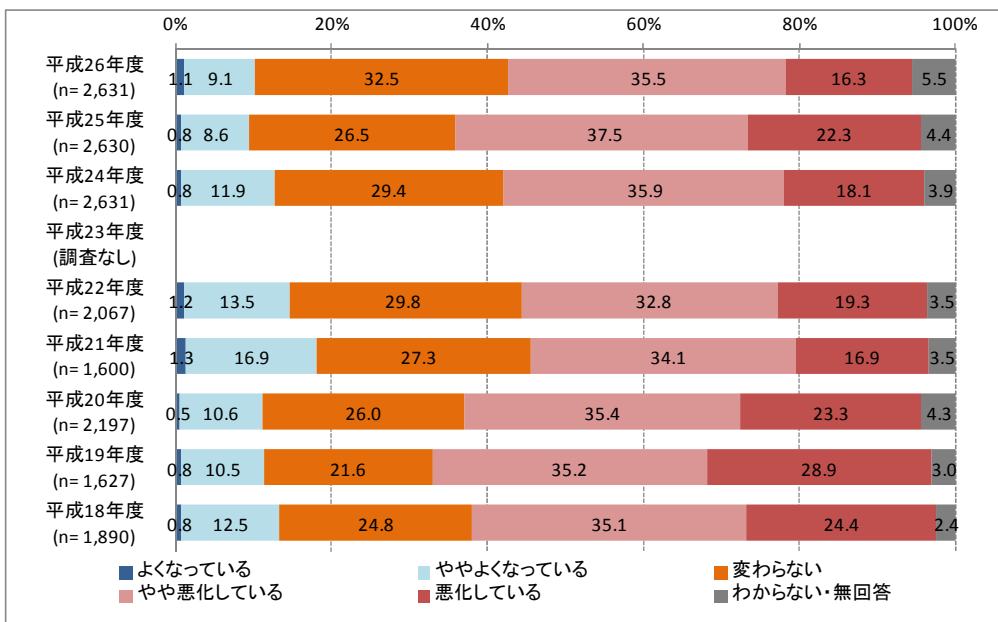


図 8 近年の環境の状況についての実感（国レベル、時系列）

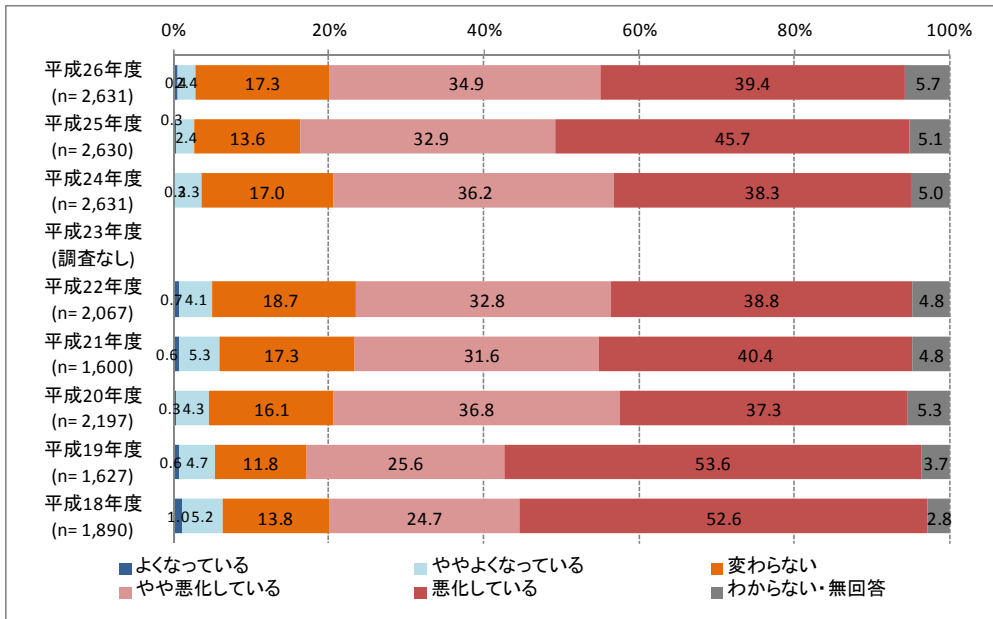


図 9 近年の環境の状況についての実感（地球レベル、時系列）

(2) 近年の環境改善を実感する理由

近年の環境の状況について、地域レベル、国レベル、地球レベルの各レベルで「(やや) よくなっている」と回答した人にその理由を複数選択可として聞いたところ、地域レベルでは「不法投棄など廃棄物の不適正処理対策が成果を上げているから」が最も多く、38.1%となった。その他多い回答は、「人々の生活の身近にある自然環境保全対策が成果を上げているから」の36.1%、次いで「廃棄物の発生量抑制策が成果を上げているから」の30.6%となった。分野としては、廃棄物関連分野は選択する人が多く、いずれの選択肢も20%を超えた。

国レベルで見ると、「大気汚染対策が成果を上げているから」が最も多く46.8%であった。その他多い回答は、「ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染対策が成果を上げているから」の38.6%、次いで「地球温暖化対策が成果を上げているから」の37.1%、次いで「水質汚濁対策が成果を上げているから」の35.2%となった。

地球レベルで見ると、「地球温暖化対策が成果を上げているから」が最も多く、38.9%であった。次いで「オゾン層対策が成果を上げているから」の26.4%となった。

n=402

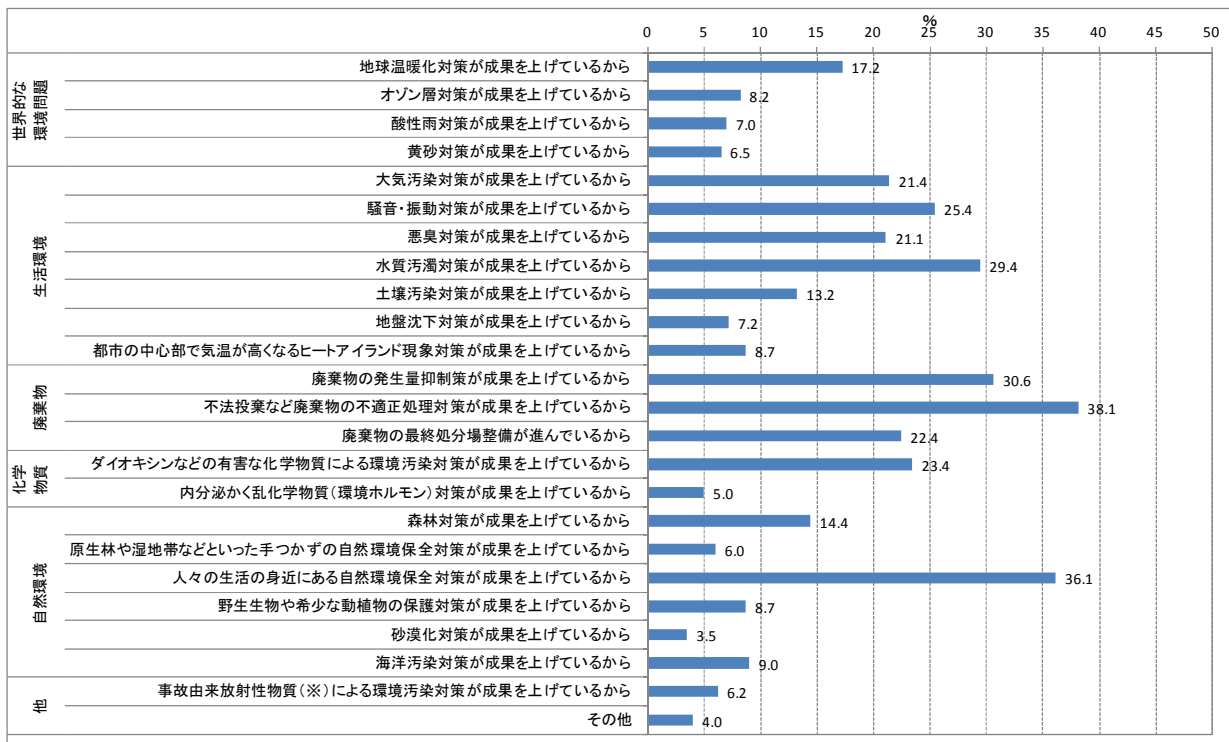


図 10 近年の環境改善を実感する理由 (地域レベル)

※「事故由来放射性物質」とは、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により当該原子力発電所から放出された放射性物質。(以下同じ)

n =267

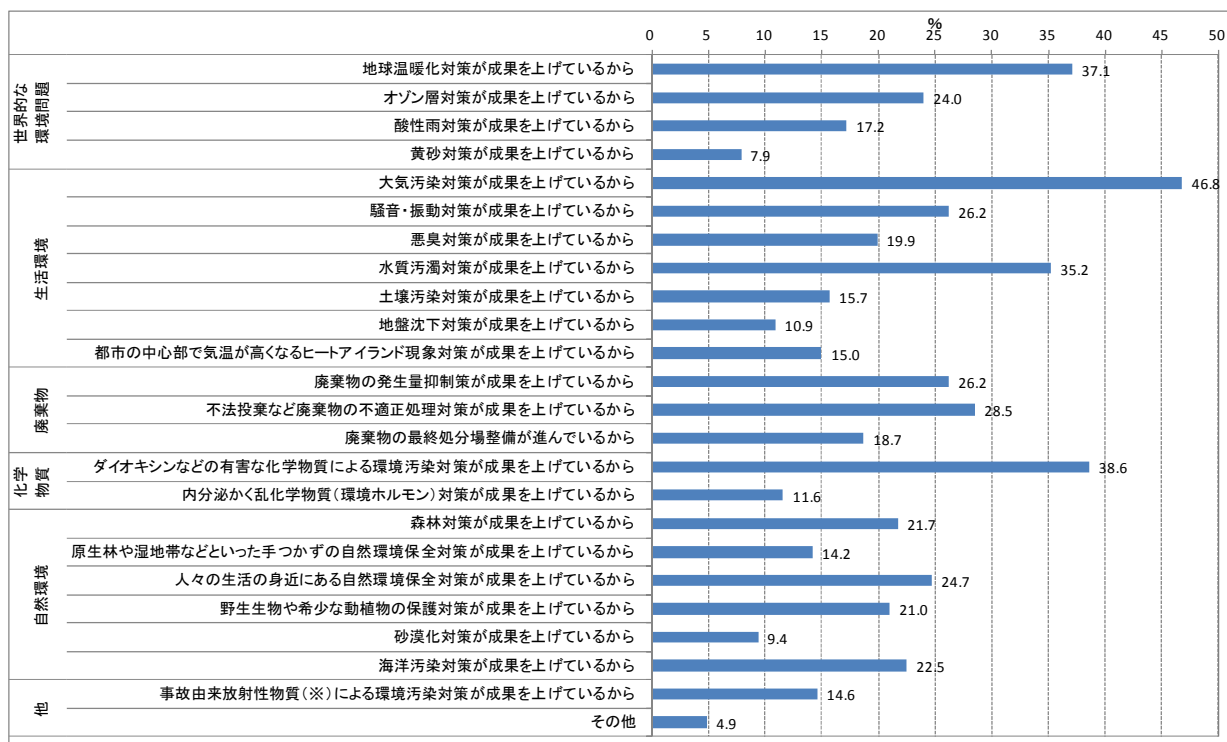


図 11 近年の環境改善を実感する理由 (国レベル)

n =72

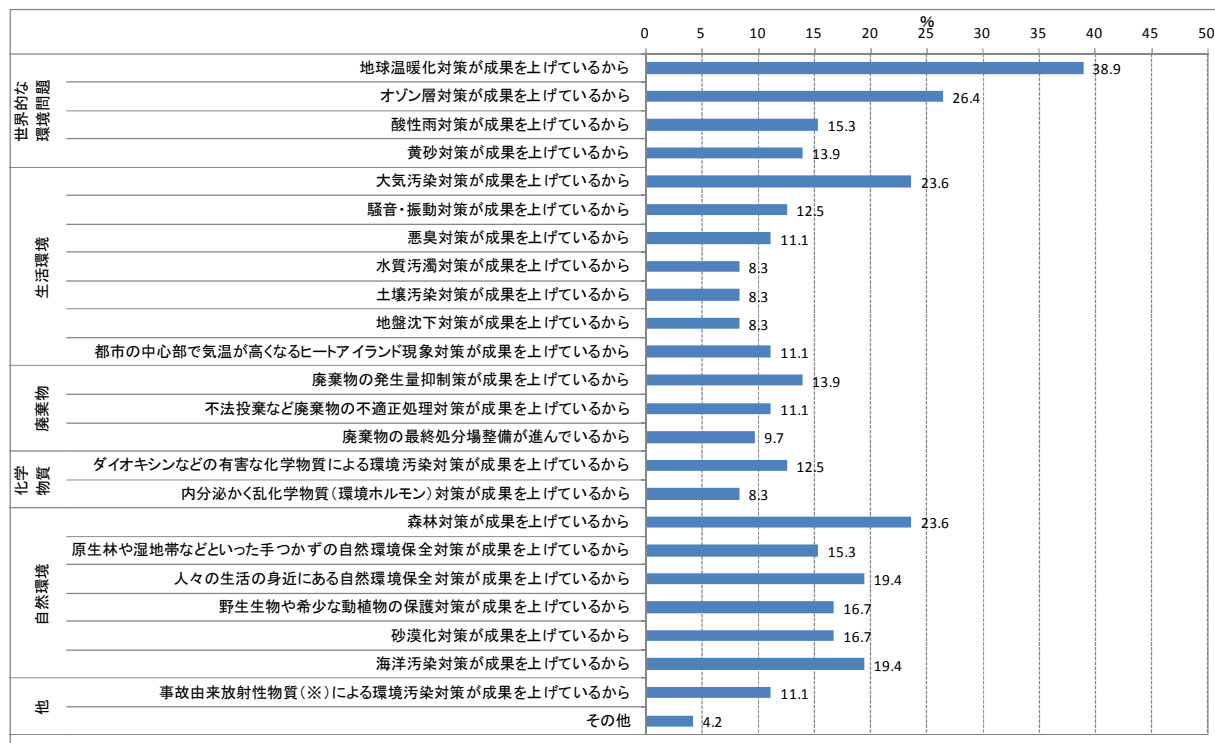


図 12 近年の環境改善を実感する理由 (地球レベル)

(3) 近年の環境悪化を実感する理由

近年の環境の状況について、地域レベル、国レベル、地球レベルの各レベルで「(やや)悪化している」と回答した人にその理由を複数選択可として聞いたところ、地域レベルでは「人々の生活の身近にある自然が減少しているから」が最も多く、36.9%となった。その他多い回答は、「地球温暖化が進んでいるから」の35.5%、次いで「不法投棄などの不適正処理が増加しているから」の30.4%となった。「人々の生活の身近にある自然環境」及び「不法投棄などの不適正処理」については、地域レベルの状況の「改善を実感する理由」としてあげている人も多く、いずれも身近な環境問題として認識しやすい項目であるためか、成果を上げているのか状態悪化が進んでいるのか、実感がわかる項目となった。

国レベルでみると、「地球温暖化が進んでいるから」が最も多く60.0%であった。その他多い回答は、「都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象が悪化しているから」の55.1%、次いで「事故由来放射性物質による環境汚染が発生したから」の47.4%となった。

地球レベルでみると、「地球温暖化が進んでいるから」が最も多く、82.4%であった。次いで「大気汚染が進んでいるから」の60.1%となった。

n =550

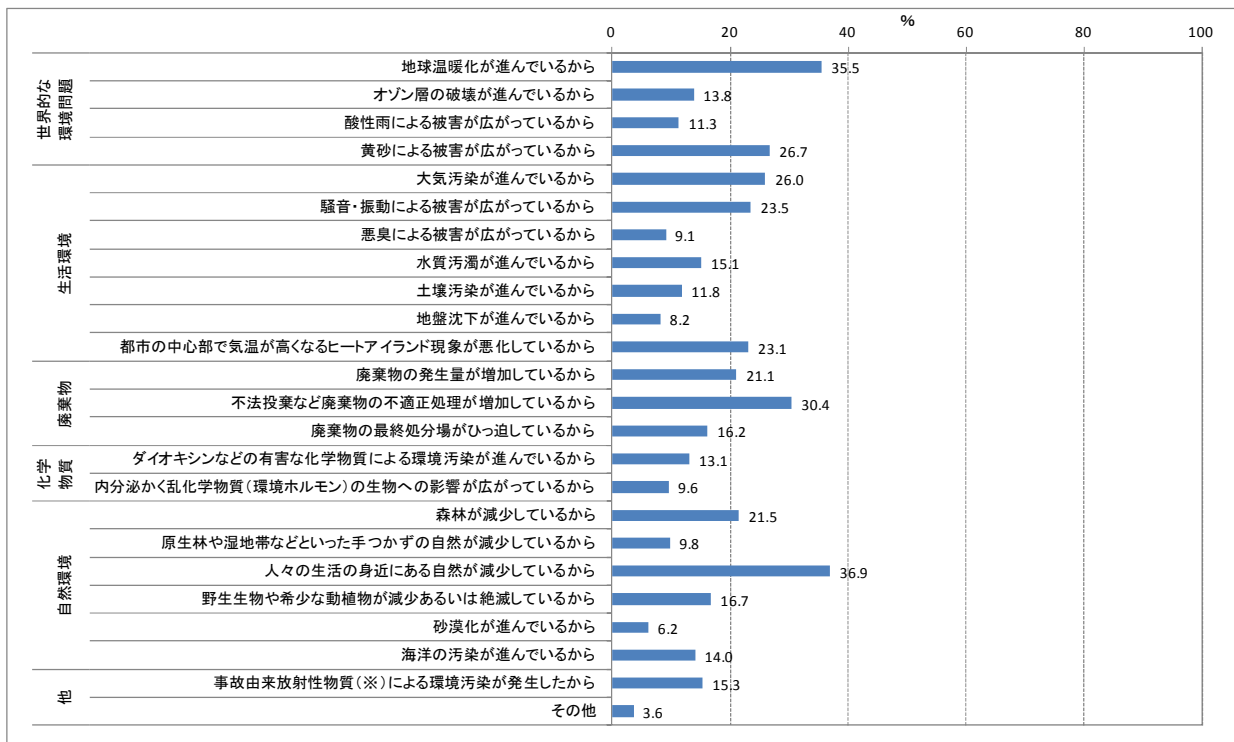


図 13 近年の環境悪化を実感する理由 (地域レベル)

n =1,364

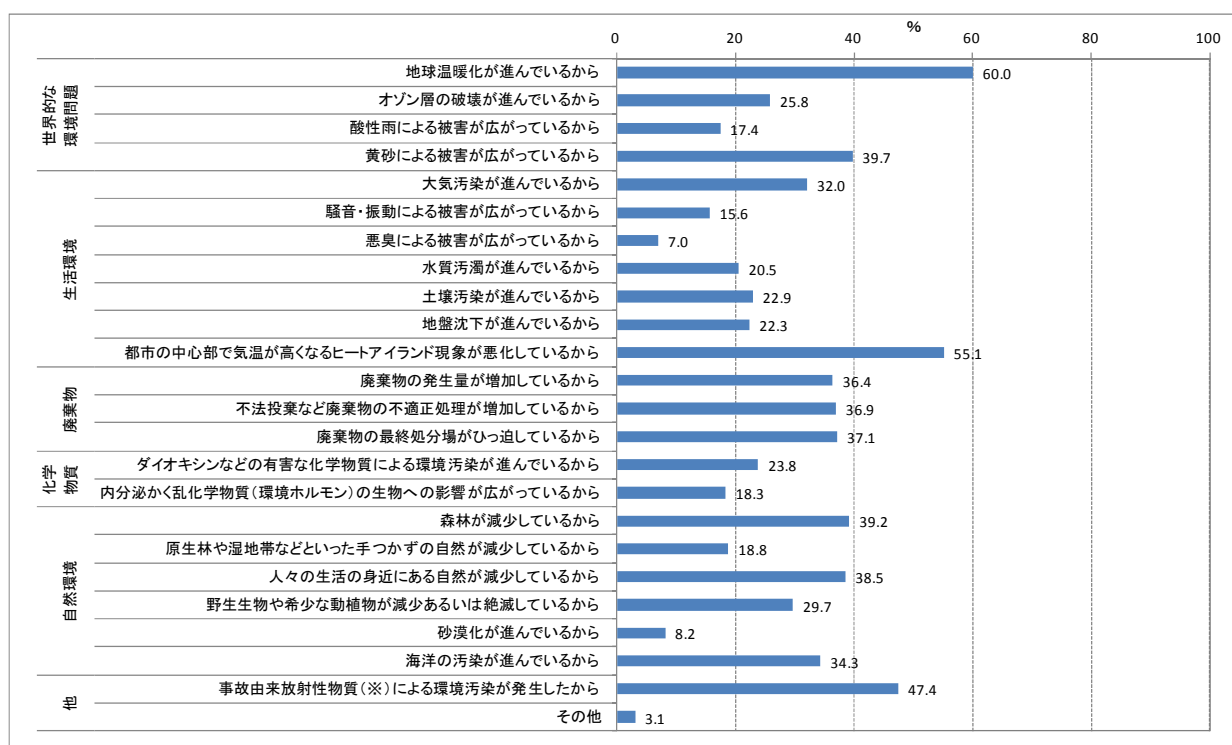


図 14 近年の環境悪化を実感する理由 (国レベル)

n =1,956

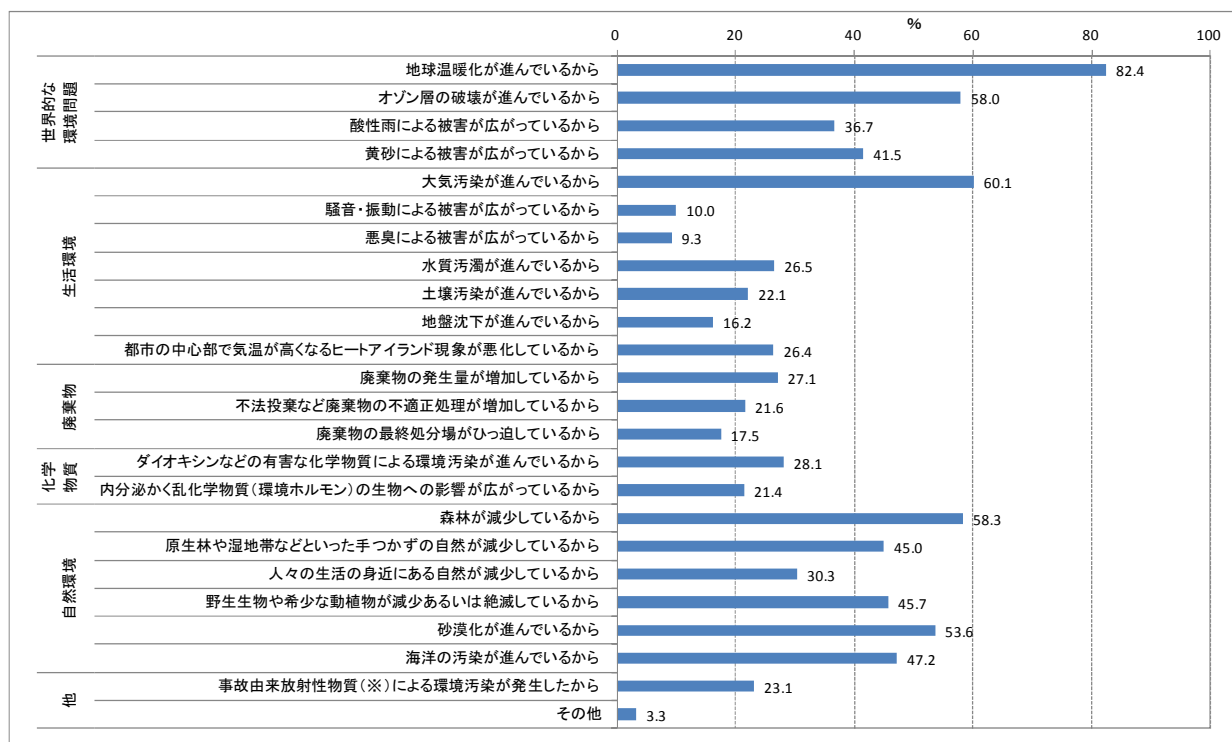


図 15 近年の環境悪化を実感する理由 (地球レベル)